

1. 感染症速報

第15週		4月7日		～		4月13日		作成元:長崎県志岐保健所 企画保健課			
	状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名	状況
	定点当り		定点当り		定点当り		定点当り		定点当り		定点当り
インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 链球菌咽頭炎		急性呼吸器感染症 (ARI)			
警報:開始30 終息10	0.67	警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始3 終息1	0.50	警報:開始8 終息4	0.00	警報:開始 - 終息 -	39.67		
感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑					
警報:開始20 終息12	2.00	警報:開始2 終息1	0.00	警報:開始5 終息2	0.00	警報:開始2 終息1	0.00				
突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		新型コロナウイルス 感染症					
警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始 - 終息 -	1.67				
	発生報告なし		少数の発生あり		流行に注意 【注意報レベル】		流行中 【警報レベル】				

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし。)。注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

2. トピックス

★急性呼吸器感染症（ARI）が5類感染症に位置づけられました

急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の改正により、令和7年4月7日から急性呼吸器感染症が5類感染症に位置付けられました。ARIの流行の動向を把握すること、未知の呼吸器感染症の発生を探知することを目的に定点把握の対象となりました。県内では人口等を勘案して選定された51医療機関（ARI定点）から、1週間（月～日曜）にARIと診断された患者数が週に1回報告されます。

2025年第15週の定点当たりの県内の報告数は「66.24」で、壱岐地区は「39.67」でした。

ARIの予防には、換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケットなどの基本的な感染症対策となります。流行状況に応じて、感染予防に努めましょう。

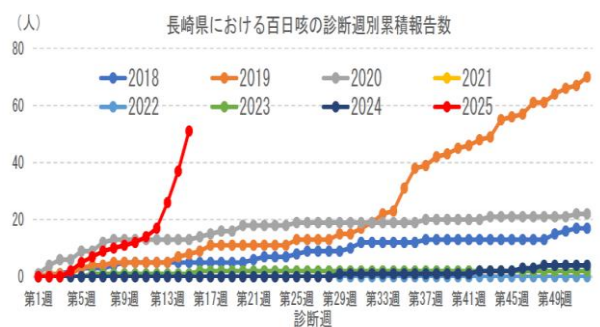
★百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。

潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

ワクチンの定期接種により発生数は激減していますが、県内において2025年は、第15週までに51件の報告があり、**全数把握疾患となった2018年以降において、最多のペースで患者数が増加**しています。年代別では、10代が約7割を占めていますが、20代でも報告があつてい

感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。



★ロタウイルスによる胃腸炎が増加しています

ロタウイルスは乳幼児の重症急性胃腸炎の原因となる主要な病原体です。環境中でも安定で、感染力が非常に強いいため感染予防が難しいウイルスといわれています。主な感染経路は糞口感染で、通常2日間の潜伏期間において、下痢、嘔気、嘔吐、発熱、腹痛を引き起こします。通常1～2週間で自然に治癒しますが、脱水がひどくなるとショック、電解質異常、時には死に至ることもあります。重症化並びに合併症の予防のため、ロタウイルスワクチンが乳児期の定期接種の対象となっています。

病原体がロタウイルスである感染性胃腸炎の患者は県内の12医療機関から週毎に報告されています。2025年は過去5年のうちで、報告が最も多くなっていますので、注意が必要です。

特に小さいお子さんのいる家庭では、体調管理に気をつけ、下痢症状が見られた場合には、オムツの適切な処理、手洗いの徹底、汚染された衣類等の次亜塩素酸消毒などにより感染拡大防止に努めましょう。



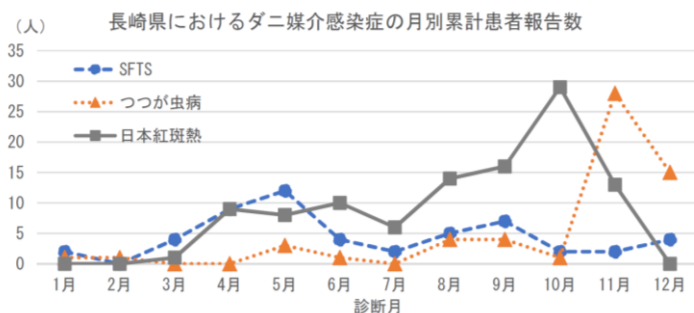
★マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。これらの感染症の報告数は、ダニの活動が活発になる4月頃から増加します。

マダニ類が媒介するSFTSは、発熱、消化器症状が主な症状で、重症化して死亡することもあります。県内では2025年第15週までに2件の報告があがっています。近年、SFTSを発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されています。

SFTS以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控え、動物由来の感染に注意しましょう。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。



梅毒の患者数が増加しています

梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症で、感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する（＝先天梅毒）経路があります。

長崎県では、梅毒の報告数が増加しています。2023年には147件の報告があり、過去最多の患者報告数となりました。

2024年は111件の報告があり、2023年に次ぐ過去2番目の報告数となりました。2025年は第15週時点で17件の報告があつてい

ます。2023年から2025年第15週の報告をみると、男性では20代から50代が多く、女性では20代が多くなっています。

梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染が疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、早期に医療

機関を受診しましょう。また、県内の保健所では、無料の相談・検査を受けられます（事前の連絡・予約が必要）。

詳細は、長崎県感染症情報センターのホームページおよび別添チラシをご参照ください。

[長崎県感染症情報センター](#)

梅毒とは

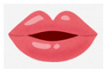
梅毒は、梅毒トレポネーマという原因菌が性的な接触（他人の粘膜や皮膚と直接接触すること）によってうつる感染症です。

感染すると全身に様々な症状が出ますが、薬物治療（内服または注射等）で完治が可能です。

梅毒ってどんな症状がでるの？

感染から
約3週間

主に性器や口の中にできもの、しこり、ただれが現れる。



症状消える

感染から
約3か月

淡い赤色の発疹（バラ疹）が、手のひら、足の裏、全身に現れる。

症状消える

数年～
数十年後

心臓、血管、脳等複数の臓器に病変が生じる。



注意！

- ・無症状で進行することもあるため、**治療をしないとその間も病気は進行します。**
- ・完治したことを確認しないまま途中で治療を中断しないことが重要です。
- ・完治しても、感染を繰り返すことがあり、再度感染しないよう予防が必要です。
- ・妊娠中に梅毒に感染すると、お腹の赤ちゃんに感染、死産、早産、新生児死亡、障害をもって生まれることがあります（**先天梅毒**）。

知って防ごう、梅毒

- ・**感染予防**のために、性行為時、コンドームを正しく使用する。
 - ・不特定多数との性的接触を避ける。
 - ・**早期発見、早期治療**が重要です。
- 詳しくは、右記ホームページをご覧ください。

梅毒に関するQ&A
（厚生労働省）



長崎県ホームページ

（県）（環境保健研究センター）



無料・匿名で検査ができます！

検査項目	留意事項	検査方法	結果判定
HIV	・感染の心配がある機会から3か月以上経過していることが目安	血液	2週間程度
クラミジア	・感染の心配がある機会から3か月以上経過していることが目安 ・月経時や前回排尿から1時間以上経過していない場合は検査不可	尿	2週間程度
梅毒	・感染の心配がある機会から5週間以上経過していることが目安	血液	2週間程度
HTLV-1	・主に母子感染や性的接触によって感染 ・近親者の感染が確認された場合で、ご自身の感染も確認したい場合に検査	血液	2週間程度

完全予約制：壱岐保健所企画保健課（0920）47-0260

症状がある場合は、医療機関を受診してください。

知っていますか？

梅毒（ばいどく）が増えています！



令和5年
147件

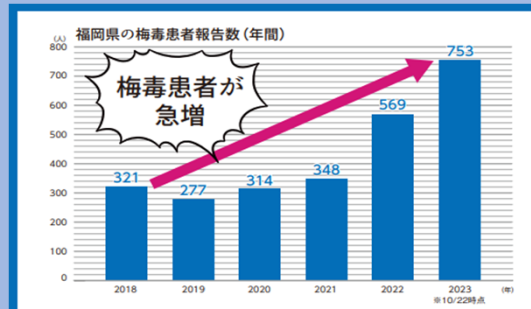
2025年は3月13日時点の値（長崎県環境保健研究センターホームページから抜粋）

自分ももしかしたら感染したかもしれない。

どうしたらいいの？



福岡県でも増えていますので、要注意！



福岡県ホームページ



あなたと大切な人を感染から守るために

全国的に梅毒の感染者が増加し、本県でも**令和5年は過去最多**の報告数となり、今もなお、感染が拡大しています。

梅毒は症状がなくても感染していることがあり、知らないうちに誰かにうつしてしまうこともあります。あなたと大切なパートナーを守るためにも、感染が疑われる症状が見られた場合、感染の不安がある場合には、症状に応じて泌尿器科、婦人科、皮膚科等を受診しましょう。また、**保健所では、無料・匿名の相談・検査**を受けることができます。